

4月から

可燃ごみから資源へ

プラスチックの回収方法が変わります

4月から、現在可燃ごみとして収集しているプラスチックを、資源として回収します。資源として回収するもの・回収できないものや、出し方などを紹介します。

問合せ 資源循環推進課清掃事業係 ☎3579-2218

ごみ減量キャラクター
かたつむりん



資源として回収するプラスチック

容器包装プラスチック

ボトル類 	キャップ類 	パック・カップ類 	ケース類 	トレイ類
袋類 	ラベル・フィルム類 	チューブ類 	発泡スチロール・緩衝材 	 容器包装プラスチックには、原則プラマークがついています。プラマークを目安に分別することをおすすめします。

製品プラスチック(プラスチック素材だけでできている製品)

フォーク・スプーン・ストロー 	コップ 	弁当箱 	CD・DVD 	おもちゃ
文具・クリアファイル 	ハンガー 	ハブラシ 	その他 	

資源(プラスチック)として回収できないもの

汚れが落ちないプラスチック 	在宅医療用のプラスチック 	最大辺がおおむね30cm以上のもの 	金属や刃物を含むプラスチック 	ペットボトル 	小型充電式電池
→可燃ごみへ	→可燃ごみへ	→粗大ごみへ	→不燃ごみへ	資源の回収日にペットボトル回収ネットなどに出してください。	発火する恐れがあるため、資源として出さないでください。詳しくは、(一社)JBRCホームページをご覧ください。

なぜプラスチックの回収方法が変わるの?

- 環境問題への対応**
プラスチックを焼却する際に発生する二酸化炭素(CO₂)が地球温暖化の原因となっています。また、不適切な処理によって海・河川に流れ込んだプラスチックごみが、海洋生態系へ悪影響を及ぼしています。
- 埋立地問題への対応**
東京港内最後の埋立処分場は、おおむね50年以上使用できると推定されていますが、処分場の延命化のためにも、ごみの減量が必要です。

プラスチックの回収による効果

- 二酸化炭素排出量を年間約5400t削減できます**
東京ドーム約130個分の大きさのスギ林が1年間に吸収する二酸化炭素の量が削減できます。
- 可燃ごみ量を年間約5200t削減できます**
区で発生する年間可燃ごみ量の約5%が削減できます。



回収日・回収場所

回収日: 資源の回収日(週1回)

地域によって異なります。集積所の資源持ち去り・放火を防ぐため、回収日当日の朝(8時まで)に出してください。各地域の収集日は、区ホームページをご覧ください。



回収場所: 集積所

ペットボトルの回収場所と同じです。

プラスチックの出し方

OK 	NG
●食べ物などの異物が付いていると、資源として出すことができません。	●汚れている場合は、布などで拭き取る・水ですすぐなどで汚れを落としてください。食べ物の色が残っている程度なら出すことができます。
●中身が見える透明・半透明の袋に入れて集積所に出してください。※袋は二重にしないでください。	

プラスチック資源回収に関するQ&A

Q1 プラスチックを出すときにレジ袋に入れて出してもいいの?	Q2 紙製のラベル・シールは付いたまま出してもいいの?	Q3 汚れが落ちないものは、洗剤を使って洗う必要はあるの?
A レジ袋で出していたでいて構いません。	A 可能な限り剥がすか切り取ってください。難しい場合は、付いたままプラスチックとして出してください。	A 洗剤を使用する必要はありません。汚れが落ちないものは、可燃ごみとして出してください。

プラスチックの詳しい分別方法は、区ホームページをご覧ください

板橋区LINE公式アカウント 	プラスチックの出し方を動画で紹介しています 	資源とごみの分け方・出し方ハンドブック
ごみ・リサイクルの情報を配信しています。利用方法など詳しくは、区ホームページをご覧ください。	YouTube区公式チャンネルで、プラスチックの出し方を詳しく解説しています。	令和5年12月～6年1月に全戸配布しました。 ▶問=資源循環推進課資源循環係 ☎3579-2258